



踏み天井と梁組みがきれいな1階空間



オリジナルの木製洗面台と床コルクタイル



ロフトから見える筋交い柱



ステンレストップの木製キッチンを製作



乱石を敷き詰めた土間玄関は楽しく使えそう



積丹カラマツの木製窓と開放的な斜め天井の2階



無垢の木でつくる自然住宅

自然塗料仕上げ
道南スギの総板張りの外装



ロフトを支える重厚な無垢材の梁が自慢

有限会社バイオプラス西條デザイン

本社：〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

伊達支店：〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139
www.saijo-d.com

◎「ECOさんが帰る場所」連載中(P36~P37)

08 資料請求番号
くわしい企業情報はp.143の
ビルダーINDEXをご覧ください。

用。数ある断熱材の中でも、製造エネルギーの消費量(CO₂放出量と比例)が最も少なく、エコ断熱材のリースといわれる自然素材で、呼吸する壁を形成することが可能だ。ほかにも、廃木材のチップを再生利用した40ミリの断熱ボードを外張り負荷断熱材として使用。一般的なプラスチック系の発泡ボードでは、呼吸する壁はできないのだ。

地域の木材を使い、接着剤や合成塗料を使わず、無垢の木材を職人の手で丹念に仕上げるのがバイオプラス西條デザインのモットー。スローな精神と無害な自然素材によるオーガニックな室内空間を創造することで、快適な暮らしが実現する。家に入ると感じるの、とにかく、空気がきれいだという。やわらかで丸みのある空気をつくり出す空間は、ナチュラルライフを送るにふさわしい心地よさである。

道産材を100%使用した「北海道の木の家」は、地域で循環する自然素材にこだわったエコ住宅。バイオプラス西條デザインがすすめるのは、地球環境と人の健康に負荷を与えない住まいづくりである。オーナーは札幌東区伏古に建つモデルハウス「伏古の家」を見学して、同じ仕様・デザインの家を建てることを希望。基本デザインはそのままに、新たに求めた土地の形状に合わせて平面プランがアレンジされた。

2人暮らしのコンパクトな住まいは、1・2階ともワンルームの贅沢な間取りに、ロフト空間が加わった2.5階建て。広い土間玄関がゆったりと迎えてくれる。

基本仕様は外断熱の基礎に道南産のクリの無添加土台、主要構造材は道東のトドマツとカラマツ材を使用。1階はナラの無垢フローリング、2階の床は1階の天井と兼用した30ミリの道産カラマツの厚板の踏み天井とした。

内装枠材や巾木などの部材、建具もすべて道産トドマツの無垢材で手づくりし、なかでもオリジナルデザインによる世界にひとつの木製キッチンが自慢。下地の木材にも合板類は一切使わない無合板仕様だ。さらに、玄関ドアと3層ガラスは積丹産カラマツの木製窓とした。

外壁は道南杉の下見板張りに、ドイツ製の木タール塗料仕上げ。木タールは木を蒸留して得られる液体で上澄みが木酢液、沈殿した粘度の高い液が木タール。正露丸の原材料として知られているものだ。

断熱材には、地域の新聞古紙を回収してつくるセルロースファイバー(標準仕様)を使